



【企業・団体 区市町村向け】

子供・子育て世代向けの取組実施に係る 企業・団体と区市町村の 協働イベント事例集

令和6年度
東京都子どもスマイルムーブメント事務局

企業・団体と区市町村の協働イベント 事例集作成にあたり

子供・子育て世代向けのイベントをより良いものにしたい。
そういった想いを叶えるため、企業・団体や区市町村のリソースや知見
を融合させた協働イベントを令和5・6年度の2年間で14回実施してき
ました。

多くの企業・団体、区市町村の方々のご協力により、延べ2,000人
超の子供・子育て世代の皆様に、さまざまな体験を提供することがで
きました。

“協働イベント”のノウハウを、より良い子供向けイベントを実施したいと
考える方々に伝える“事例集”としてここにまとめます。

次の“協働イベント”、そして未来の“子供たちのスマイル”につながる
活動の一助となれば幸いです。

こどもスマイルムーブメント事務局




！ 企業・団体と区市町村の協働イベントとは？


企業・団体と区市町村が

「子供の意見を聴いて」「協働で実施する」
バージョンアップした子供向けのイベント！



- 1 協働してイベントを実施するパートナーを見つける※
- 2 子供の意見を聴くイベントを協働で企画・実施する
- 3 子供の意見を反映し、バージョンアップしたイベントを協働で企画・実施する

※  WEBサイトで見つける：KSMP(参画企業・団体専用サイト)には、コラボレーション機能が実装されています
コラボレーション機能は、参画企業・団体様が、募集したいリソース（コンテンツ・場所・人員・費用等）を登録して、他の参画企業・団体との協働を促進する仕組みです*詳細はP27参照

 交流して見つける：こどもスマイルムーブメントではコラボレーション等を目的とした交流会を実施しています



！ 企業・団体と区市町村の協働イベントの実績

延べ2,000人超の子供・子育て世代の皆さまに 地域でさまざまな体験を提供！

企業・団体や区市町村それぞれのリソースや知見を融合させた協働イベントとして
令和5・6年度の2年間で14の協働イベントを実施

令和6年実績

地域のコンサート
運営体験



子供たちが考えた
環境に優しいカレー



地域の
伝統工芸品の
端材を使った
アート作品づくり



地域をイメージした
グラスサンドアートを
作成



育業経験のある
父親と子供の関係
をより深める
デイキャンプ体験



声や手話で
音楽を表現する
ハンドコーラス
体験



地域で楽しめる
動物広場の
運営体験



地域のソウルフード
“もんじゃ焼き”を
ヒットさせるプランを
考えるイベント



地域で採れる
野菜に触れながら、
おかずペーパーで
駅弁を制作



！ 協働イベント 関係者・参加者の声

区市町村と協働することにより、
広報活動の幅が広がった
(企業・団体)



笑っている人もたくさんいて楽しかった！
自分も役に立っているような気がしたり、みんなが
笑顔になっていたので楽しかった！
(運営体験をした子供)



新しい分野に携わり、貴重な経験が
得られた。今後の自治体としての企画
や展開に幅を得ることができた
(区市町村)



企業・団体のノウハウや技
術を活用することで、自治
体単独で行う以上の効果
を生むことができた

(区市町村)



協働することで企業として
新たなコンテンツが誕生した！

(企業・団体)



学校で習っていないこと
を学習できて楽しかった

(参加した子供)



持続可能な地域作りに繋がるような好事例が
誕生した。自治体・地域住民・生産者の三方
よしにつながる好事例が誕生し、今後も別の
地域での連携・協働の可能性が生まれた

(企業・団体)



自分が何を食べるかによって、地球
環境が大きく変わることが分かった。
自分で食材を考えることがなかった
ので、良い体験になった

(参加した子供)



民間の視点やノウハウを学ぶことができた。
事業内容や対象者の幅が広がる可能性を
感じた

(区市町村)



！ 協働イベントをおすすめしたい方々

- ✓ いつもの子供・子育て世代向けイベントをより良いものにしたい方
- ✓ 新しいことにチャレンジしたい方
- ✓ 子供にもっとイベントを楽しんでほしい方
- ✓ 子供の希望するイベントを実現してあげたい方
- ✓ 地域の特色を活かしたイベントをしたい方



協働イベントの目的は、より質の高い子供・子育て世代向けのイベントを実施することです

そのための手段として、子供たち当事者の意見・声を取り入れることを推奨しています

ぜひ、本事例集を参考に協働イベントの実施を検討してください

！ 協働イベントプロセス

令和5・6年度は、以下のプロセスで実施しました。

- 

0. 子供/子育て世代向けイベント企画立案
✓ 解決したい課題や実現したいテーマを設定
- 

協働先の調整
✓ 解決したい課題や実現したいテーマに共感する区市町村を都がマッチング
- 

1. イベントの企画立案
プレイベントの検討 本番イベントの検討
- 

2. プレイベントの実施
- 

3. 本番イベントのブラッシュアップ
✓ プレイベントの子供たちの意見を基にブラッシュアップした本番イベントを企画
- 

4. 本番イベントの実施
- 

5. 報告書の作成と共有

協働イベント事例



協働イベント事例一覧

イベント名(例)		イベントキーワード		
		文化・芸術	自然・環境	社会体験
1	地域・学年・障害を越えて繋がるホワイトハンドコーラスに挑戦しよう	# 音楽 # 手話 # 手歌 # 障害		
2	グラスサンドアートで自分の住むまちを表現しよう	# 芸術 # ものづくり・工作		# 地域
3	地域の“おいしい”を発見！おかずペーパーで地域の駅弁を考えよう！	# 地域特産品 # ものづくり・工作	# 食育	
4	オーケストラ体験！地域で楽しむコンサートを作ろう！	# 音楽 # ものづくり・工作		# お仕事体験 (装飾・案内)
5	地域の職人の技と美！端材を活用して自分だけのアート作品を作ろう	# 芸術 # 伝統・文化 # ものづくり・工作		
6	地域で学ぶ食と環境問題。地域の特産品を使ったオリジナルカレーを考える	# 意見出し	# 環境問題 # 食育 # 地産地消	# 地域
7	地域で「お金」について学ぶ！もんじゃ焼きをヒットさせるプランを考えよう	# 国際		# お仕事体験 (プランナー) # 金融
8	地域で親子の絆を深める！自然といきものに学ぶデイキャンプ体験	# 食	# キャンプ # 火おこし # 非日常	# 父親の育業
9	動物広場の運営体験！地域のみんなが動物とふれあえる広場を考えよう	# 意見出し	# 屋外活動 # 動物	# お仕事体験 (運営スタッフ) # 地域
10	身近な樹木に親しむプログラム	# 意見出し	# 環境問題	# 地域
11	まちを考える・つくる体験イベント	# 意見出し		# 地域
12	伝統工芸や文化に触れる体験	# 芸術 # 伝統・文化 # ものづくり・工作		
13	身近な樹木に親しむプログラム	# 意見出し	# 環境問題	# 地域
14	子供がつくる「期間限定の仮想都市」体験	# 意見出し		# 地域

詳細有

詳細有

詳細有

詳細有

📺 すべてのイベントの様子はこどもスマイルムーブメントのYouTubeチャンネルにて視聴できます

協働イベント事例：
職人の技と美！端材を活用して自分
だけのアート作品を作ろう



！ 協働イベント事例：職人の技と美！端材を活用して自分だけのアート作品を作ろう

1. イベントの企画立案

- ✓ プレイベントと本番イベントの2つ前提で立案
- ✓ 子供に意見を聴いてブラッシュアップしたいポイントを整理

✓ プレイベントの検討

伝統工芸の素材(端材)を使ったアート体験



✓ 子供に意見を聴いて

ブラッシュアップしたいポイントを整理

✓ 素材についての意見

伝統工芸の端材についての子供の感想や要望を知りたい

✓ 子供の興味関心ポイント

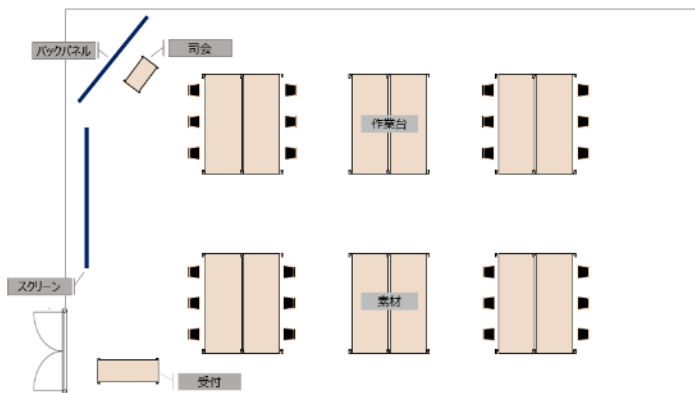
子供が楽しみながら伝統工芸を理解するために必要なこと・ものを知りたい

✓ 本番イベントの検討

子供たちの意見が反映された伝統工芸の素材(端材)を使ったアート体験になる！

✓ プレイベント 10月下旬

利便性の高い駅近で区立の小型会場を手配



✓ 本番イベント 12月下旬

(規模を拡大し) 区立の大型会場を仮確保



💡 解放感と参加者同士の距離感の2つの課題解決が可能な会場にした

💡 プレイベントが好評であり参加者の増加が見込めたため、会場の規模を拡大

！ 協働イベント事例：職人の技と美！ 端材を活用して自分だけのアート作品を作ろう

2. プレイイベント実施

- ✓ プレイイベントを実施し、子供たちの意見を聴き取る

✔ プレイイベントの実施

伝統工芸の素材(端材)を使ったアート体験の実施



人気だった型友禅の色見本

✔ 子供の意見の聴き取り方法

現場でのヒアリングとアンケートの実施

- ✓ 現場での作品発表 + 個別ヒアリングで次回に向けた具体的な意見の聴き取り

- ✓ アンケートで子供と保護者双方から満足度や改善点含め意見の聴き取り

3. 本番イベントのブラッシュアップ

- ✓ プレイイベントの子供たちの意見を基にブラッシュアップした本番イベントを企画

✔ 意見を聴き取った結果により、ブラッシュアップ企画を検討

- ✓ **素材について**
人気だった色の素材を増やした
子供が扱いやすい大きさに予めカットした
- ✓ **コンテンツについて**
地域の伝統工芸の職人さんを招待し、
実演 + 体験の場を設けた
- ✓ **イベント全体のテーマについて**
「ものづくり」をより楽しんでもらうため、アート作品に季節のテーマ性を持たせた(クリスマス飾り)

「子供の意見を聴いて」「協働で実施する」
バージョンアップした子供向けのイベントに！

職人さんの実演有！子供たちの意見が反映された
伝統工芸の色鮮やかな素材を使ったクリスマス飾り
アート体験イベント企画が誕生

4. 本番イベント実施

江戸簾職人による実演(投げ玉)体験コーナー



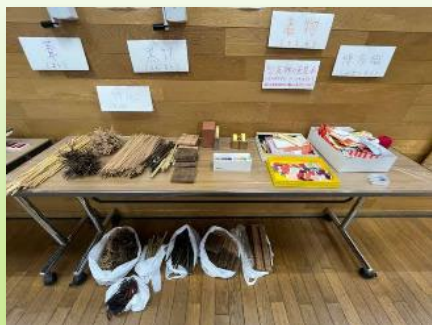
職人さんの話も聞いてみたかったという子供たちの意見を基に、実演体験コーナーを設置。体験することで子供の記憶に残るイベントになる



簾、着物などの端材を準備



子供が制作しやすいように事前に大きさを調整。ちょっとした手間が子供たちの笑顔につながる



見本を参考にして制作する参加者も



見本を用意しておくことで、参加者のイメージが膨らんでより制作しやすくなる



子供だけでなく保護者も没頭



保護者も一緒に楽しめるテーマ(季節の飾り)にすることでイベント全体の満足度が向上



会場全体レイアウト



制作した作品を手に記念撮影



協働イベント事例：
地域で学ぶ食と環境問題
地域の特産品を使ったオリジナルカレーを考える



1. イベントの企画立案

- ✓ プレイベントと本番イベントの2つ前提で立案
- ✓ 子供に意見を聴いてブラッシュアップしたいポイントを整理

✓ プレイベントの検討

どのカードを選べば地球に優しくおいしいカレーができるか、環境や地域野菜を数値化したカードゲームの体験イベント



✓ 子供に意見を聴いて ブラッシュアップしたいポイントを整理

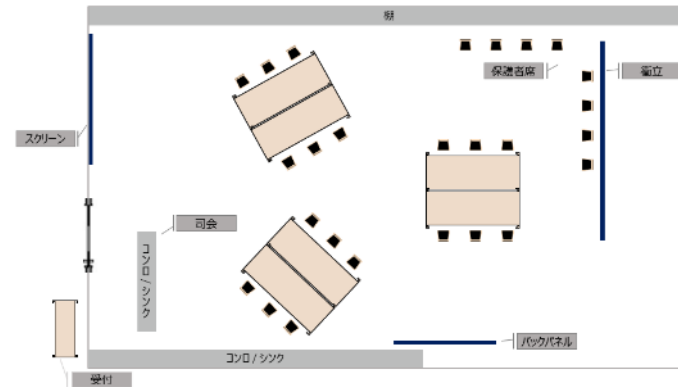
- ✓ **カードゲームについての意見**
何をテーマにしたら子供たちが楽しめるか、どの程度の難易度であれば妥当かを知りたい
- ✓ **理解を深めるためのコンテンツについての意見**
子供が楽しみながら環境と地元の食を理解するために必要なこと・ものを知りたい

✓ 本番イベントの検討

子供たちがゲームを通じて考えた、地域の野菜を使ったオリジナルカレー作り！

✓ プレイベント 11月上旬

食も学べる地域の給食センターの小会場を手配



✓ 本番イベント 12月下旬

(規模を拡大し) 市内の大型会場を仮確保



💡 公共の交通機関でアクセスしやすい会場を確保

💡 プレイベントが好評であり参加者の増加が見込めたため、会場の規模を拡大

2. プレイメント実施

- ✓ プレイメントを実施し、子供たちの意見を聴き取る

✔ プレイメントの実施

どのカードを選べば地球に優しくおいしいカレーができるか、環境と食を楽しみながら学べるイベントの実施



地域の食についての講義

✔ 子供の意見の聴き取り方法

アンケートの実施と現場でのヒアリング

- ✓ アンケートで子供と保護者双方から満足度や改善点含め意見を聴き取る
- ✓ 現場でのふりかえりシート、ご意見カードの作成で次回に向けた具体的な意見を聴き取る

3. 本番イベントのブラッシュアップ

- ✓ プレイメントの子供たちの意見を基にブラッシュアップした本番イベントを企画

✔ 意見を聴き取った結果により、ブラッシュアップ企画を検討

- ✓ **カードゲームについて**
地域の野菜を中心に、カードの種類を増やした
- ✓ **イベントの進行について**
「食を学ぼう」のコーナーをカードゲームよりも前に実施することにより、地域の食材を理解してもらえるようにした
- ✓ **イベント全体のテーマ、理解について**
雹・暴風被害の話を追加し、農家の方の「地元の子供たちに地元産の野菜を食べてほしい」との思いから3月の給食のために育てなおしたエピソードを伝えて理解を深めた

「子供の意見を聴いて」「協働で実施する」バージョンアップした子供向けのイベントに！

子供たちの意見が反映されたカードゲームを通して環境と食を楽しみながら学べるイベント「地域の特産品を使ったオリジナルカレーを考える」が誕生（オリジナルカレーは実際に給食になりました）

4. 本番イベント実施

「食を学ぼう」のコーナー



農家の方の想いを直接伝えることで、子供たちに課題意識が生まれる



ゲームで使った食材カード



多様なカードを準備することで選択肢が増え、子供たちの想像力を引き出す



子供たちが考えたカレーが給食に



チームに分かれてカードゲームを実施



グループワークが自発的な学びのきっかけに



まとめシート



グループワーク用にフォーマットを準備すると、考えることも発表することも簡単に



給食となったオリジナルカレー



協働イベント事例：
動物広場の運営体験！地域のみんな
が動物とふれあえる広場を考えよう



！ 協働イベント事例：動物広場の運営体験！ 地域みんなが動物とふれあえる広場を考えよう

1. イベントの企画立案

- ✓ プレイベントと本番イベントの2つ前提で立案
- ✓ 子供に意見を聴いてブラッシュアップしたいポイントを整理

☑ プレイベントの検討

子供の主体性を育む、動物広場の運営体験



☑ 子供に意見を聴いて

ブラッシュアップしたいポイントを整理

✓ 展示する動物、広場のレイアウトについての意見

どんな動物がどんなふうに展示されていたら楽しいか、
地域の人喜んでくれるかを知りたい

✓ お仕事体験についての意見

動物園のどんなお仕事をしてみたいか、どんなお仕事があつたら地域の人を楽しませられるかを知りたい

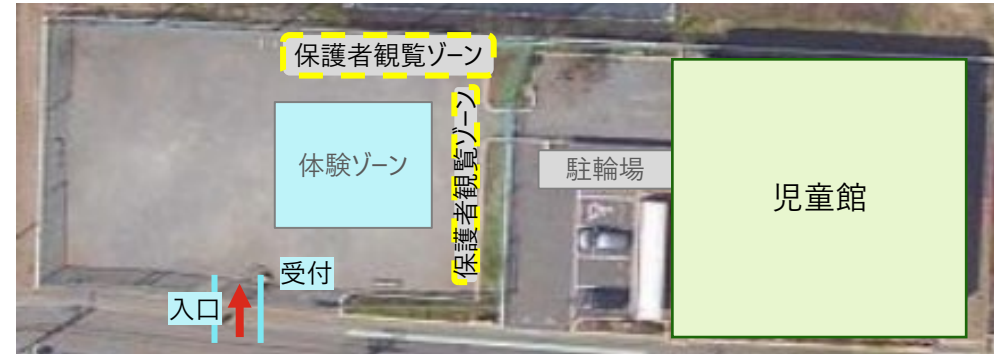
☑ 本番イベントの検討

いつもの児童館と公園が動物園に！
子供たちが考え、運営する地域の動物広場

☑ プレイベント 11月中旬

児童館併設の公園を確保

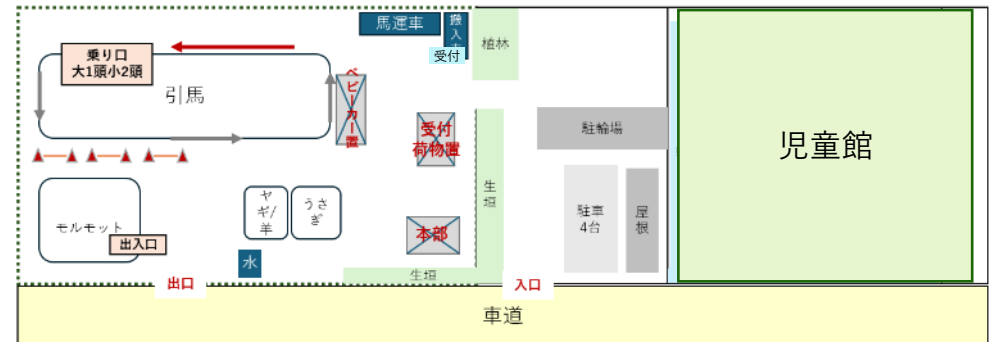
(天候に左右されないよう、屋外と屋内双方で実施できる会場)



☑ 本番イベント 1月上旬

プレイベントと同じ児童館併設の公園を確保

(天候に左右されないよう、屋外と屋内双方で実施できる会場)



プレイベントでの児童館来館者の当日参加など
連続性・連動性も考慮し、同じ場所での開催を決定

2. プレイベント実施

- ✓ プレイベントを実施し、子供たちの意見を聴き取る

○ プレイベントの実施

動物との触れ合い体験を行い、動物園の展示・運営について考えるプレイベントを屋外で実施



○ 子供の意見の聴き取り方法

アンケートの実施と現場でのヒアリング

- ✓ アンケートで子供と保護者双方から満足度や改善点含め意見を聴き取る
- ✓ 現場でのアイデア・意見出し、ホワイトボードでのレイアウト検討で次回に向けた具体的な意見を聴き取る

3. 本番イベントのブラッシュアップ

- ✓ プレイベントの子供たちの意見を基にブラッシュアップした本番イベントを企画

○ 意見を聴き取った結果より、ブラッシュアップ企画を検討

- ✓ **動物園の名称について**
動物広場の名称は、子供たちが考えた「みんなでふれあいどうぶつえん」とした
- ✓ **展示する動物・展示レイアウトについて**
特定の動物は2か所に設置して展示方法に変化をつけるなど、子供たちのアイデアを取り入れたレイアウトとした
- ✓ **お仕事体験について**
動物へのえさやり、来場者の動物ふれあいのサポート、待機列で待っている人向けにクイズを出す仕事等、子供たちのおもてなし溢れる運営体験とした

「子供の意見を聴いて」「協働で実施する」バージョンアップした子供向けのイベントに！

いつもの公園が、子供たちの意見が反映された動物広場になるイベントが誕生

4. 本番イベント実施

多くの地域の方が来場



地域の方々が多く集まる公園や児童館で実施し、延べ1,000名が来場



運営体験：来場者にクイズを出している様子



並んでいるときも楽しみたい！という子供たちの素直な気持ちから「待機列の人へのクイズ出し」という運営体験のアイデアが生まれた



運営体験：来場者にヘルメットを渡す様子



運営体験： えさが入ったコップを来場者に渡す様子



体験する側から体験を提供する側へ子供の新たな可能性が引き出される



モルモットが雨に濡れないよう 協力してバンダナで雨除けをつくる様子



動物のお世話をしたいという気持ちが子供たちの優しい心を育む



集合写真(動物も一緒に)



協働イベント事例：
まちを考える・つくる体験イベント



！ 協働イベント事例：まちを考える・つくる体験イベント

1. イベントの企画立案

- ✓ プレイベントと本番イベントの2つ前提で立案
- ✓ 子供に意見を聴いてブラッシュアップしたいポイントを整理

✓ プレイベントの検討

まちを考える・つくる、ガリバーマップ作成イベント



💡 都市マスタープランの改訂に反映するため、
子供の意見を聴き取る

✓ **まちの魅力や課題についての意見**
自分のまちにあったらいい場所など、もっとまちをよくするためのモノやコトを知りたい

✓ **理解を深めるためのコンテンツについての意見**
子供が楽しみながらまちの魅力や課題を理解するために必要なこと・ものを知りたい

✓ 本番イベントの検討

みんなのまちを模型で考える！

子供たちの意見が反映されたものづくりの楽しさが分かるイベント

✓ プレイベント 10月上旬

市役所の会議室を確保



✓ 本番イベント 12月上旬

市役所のホールで実施
内容に合わせてより大きな会場を確保



2. プレイイベント実施

- ✓ プレイイベントを実施し、子供たちの意見を聴き取る

○プレイイベントの実施

まちの魅力や課題について学び、4m×4mの巨大ガリバーマップに未来のまちを描くイベントを実施



○子供の意見の聴き取り方法

アンケートの実施と現場でのヒアリング

- ✓ アンケートで子供と保護者双方から満足度や改善点含め意見を聴き取る
- ✓ 現場でのアイデア・意見出し、個別ヒアリングで次回に向けた具体的な意見を聴き取る

3. 本番イベントのブラッシュアップ

- ✓ プレイイベントの子供たちの意見を基にブラッシュアップした本番イベントを企画

○意見を聴き取った結果より、ブラッシュアップ企画を検討

- ✓ まちの魅力や課題の理解について
地域の特徴ある3エリアを「模型作り」でより分かりやすく表現した
絵や文字だけでなく、三次元の模型づくりを行うことで、子供の創造性を刺激した
- ✓ ものづくりについて
作る楽しさを感じてもらいつつ、制作したものが長くまちに残るように、木製のベンチを制作する実践型とした

「子供の意見を聴いて」「協働で実施する」バージョンアップした子供向けのイベントに！

子供たちの意見が反映された
ずっと自分たちのまちに残るベンチを制作する、
自分たちのまちを考える・つくるイベントが誕生



協働イベント事例：まちを考える・つくる体験イベント

4. 本番イベント実施

模型を作りながら、まちについて考える様子



3次元の模型作りでより分かりやすく、また、子供たちの想像力も刺激



模型を作って、自分の考えたまちを参加者と共有し合う



模型を作って、未来のまちのアイデアを共有するグループワークも子供たちの主体性を引き出す



好きな色の地元の木材を選ぶ様子



ベンチの作り方を教わりながら一緒に組み立てる



実際にまちの人が座るベンチをつくるという実践型の体験が「もっと憩いの場を」という具体的な課題解決になる



集合写真(制作・設置したベンチに座って)



形に残るという実践型の体験が、自分たちのまちへの愛着を育むことにつながる



協力して作ったベンチにみんなで座る様子



補足資料



コラボレーション機能のご紹介

こどもスマイルムーブメントプラットフォーム（KSMP）のコラボレーション機能は、参画企業・団体様が、募集したいリソース（コンテンツ・場所・人員・費用等）を登録して、他の参画企業・団体との協働を促進する仕組みです。

コラボレーション機能のイメージ図

A社（募集する企業・団体）

コンテンツはあるけれど、
実施する「場所」がない・・・



募集

こどもスマイルムーブメント
プラットフォーム（KSMP）

案件登録

応募・面談



コラボレーション成立

計画

実施

B社（応募する企業・団体）

募集条件に合う
「場所」がある！

応募



■東京都 こどもスマイルムーブメント事務局

【メールアドレス】

jimukyoku@kodomo-smile.metro.tokyo.lg.jp

【電話番号】

03-5213-0815 受付時間：10:00~17:00（※土日休日を除く）

【こどもスマイルムーブメント公式ホームページ】

https://kodomo-smile.metro.tokyo.lg.jp/corp_top

